

2021年3月期 第2四半期決算説明会
主な質疑応答

Q: ドキュメント事業における上期実績と足元の状況を踏まえた見通しを教えてください。

A: セキュリティ機能に優れた当社複合機の引き合いが強いことに加え、2Q に発売した新製品効果により、上期は日本・中国・その他地域、いずれも販売台数が前年比で増加した。プリントボリュームも回復してきており、年度末には国内でコロナ禍前の95%まで戻る見込み。

Q: チェキの上期販売状況と今後の見方について教えてください。

A: 上期はコロナ禍の中でも、米国や中国での販売が好調に推移した。米国では経済政策を優先する政府の動きに即した量販店への拡販が功を奏した。この流れは2Q で加速しており、3Q のクリスマス商戦に向けて手ごたえを感じている。日本では営業時間の短縮により、店舗販売が影響を受けた。クリスマス商戦に向けて店舗販売以外の販路として、通販で拡販する等の売り方の工夫を拡大していく。

Q: バイオ CDMO 事業が好調な要因を教えてください。

A: 前年度に連結化したデンマーク拠点が通期で寄与することに加え、新型コロナウイルス感染症向けのワクチン・治療薬を含む製造受託の好調により、当初計画の1年前倒しで売上高1,000億円を今年度達成する見込み。製造能力を上げる投資は次期中期計画の期間でも実施する予定で、2024年度には売上高2,000億円を目標としている。